



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

SGHの活動の一環として、生徒間での情報を共有する機会として、生徒主体のグローバルカフェを行った。外部講師を招聘しての講師招聘型も開催している。開催時期と内容は以下の通りである。

#### 第1回グローバルカフェ『起震車を体験してみよう!』

日時：2016年4月21日(木)

場所：本校総合メディアセンター

ファシリテーター：6年2名

昨年度共同で課題研究を進めていた6年生2名が、自分たちの研究をきっかけに起震車体験及び練馬区防災学習センターの方による講話を企画し、当日もファシリテーターとして運営を行った。練馬区防災学習センターの方から練馬区で想定される地震被害とその対策について具体的にうかがうことができた。

#### 第2回Global Café『WORLD CUP-FOOD FES 報告会』

日時：2016年5月18日(水)

場所：本校総合メディアセンター

発表者：5年3名

「WORLD CUP-FOOD FES」でフィンランド料理を企画し、商品化のためフィンランド料理店へのインタビューや試作を行ったことやフィンランド大使館にも英語とフィンランド語で広報をお願いしたことなど綿密な準備の様子の報告があり、さらに「WORLD CUP-FOOD FES」で審査員特別賞を受賞することで参加権を得たタイのイベントで現地の高校生と商品開発を行ったことについてプレゼンテーションを行った。

#### 第3回Global Café『ベトナム高校生との交流会』(交流委員会共催)

日時：2016年6月13日(月)

場所：本校E棟201室

6年の生徒がまず日本の高校に関するプレゼンテーションを行い、続いてベトナムの高校生(Trun Vuong 高校・Hoang Hoa Tham 高校)によるプレゼンテーション・日本語の歌の披露がなされた。その後、両校のプレゼンテーションをふまえた交流会を行った。

#### 第4回Global Café『ISS生としてファッションをどうやって楽しむ?』

日時：2016年7月13日(月)

場所：本校総合メディアセンター

発表者：5年2名

昨年度から進めている課題研究に関連して、ファストファッションブランドの裏側にある問題を提起し、中高生であってもファッションに関してどんなアクションを起こすことができるかを参加者と一緒に考え、最後に意見交換を行った。

#### 第5回Global Café『護身術講習会』(石神井警察防犯課)

日時：2016年9月5日(月)

場所：本校E棟201室

ファシリテーター：6年2名、5年1名

昨年度の課題研究を出発点として今年度発足したISS防災隊を中心に護身術講習会を企

画・運営した。

#### 第6回 Global Café 『UCL Japan Young Challenge 報告会』

日時：10月19日（水）

場所：本校総合メディアセンター

7月22日から8月1日にかけて英国で行われた研修に参加した4年生2名がプレゼンテーションを行った。研修では災害についてディスカッションを行い、その後のシンポジウムでも海外の同世代の人たちと交流し、UCL やケンブリッジの教授陣の講義を体験したり、海外で働く日本人の方々・イギリスで学ぶ大学院生や本校卒業生から様々な話をうかがったりしたことなど報告された。自らの進路についてもそれぞれ改めて考える機会となったようである。

#### 第7回 Global Café

テーマ「立場を変えても通用する議論を！

ーリーガル・マインド（法的思考）の本質とは何か？ー」

日時：10月25日（火）

場所：本校E棟101室

講師：慶應義塾大学法学部教授 駒村圭吾先生による講演

法の基礎にある「正しい」という価値判断はどのようなものか、身近な具体例からアメリカ最高裁判決の例など取り上げ、生徒とのディスカッションも交えながらご講義いただいた。講義後も生徒からの質問が途絶えることなく、参加生徒にとって課題研究への新たな視点を持つことにつながる講演であった。

#### 第8回 Global Café

テーマ「パラリンピック競技の種目特性を知る ー実際の用具に触れてみようー」

日時：11月25日（月）

場所：本校本校総合メディアセンター

講師：立教大学コミュニティ福祉学部助教 安藤佳代子先生による講演

パラリンピックの歴史や種目等についてお話しいただき、後半には普段使用する車いすと競技用車いすを比べたり、実際に参加者でボッチャを体験したりした。参加生徒に直接体験することの大切さを実感させる講演であった。

#### 第9回 Global Café 『ドキュメンタリー映画「THE TRUE COST」上映会』

日時：12月15日（木）

場所：本校本校総合メディアセンター

ファシリテーター：5年2名

課題研究の一環として、5年生2名の企画によるドキュメンタリー映画「THE TRUE COST」上映会が行われた。最初に映画が制作された背景やエシカルファッションについて説明がなされ、映画を観た後「映画を観て感じたこと」「ファストファッションや消費に対する意識の変化」「自分にできることは何か」など参加者がそれぞれ考えたことを付箋に書き、共有した。参加生徒は映画の内容に衝撃を受けながらも、映画を通して現代の我々が抱える問題を深く考える機会となった。

#### 第10回 Global Café

「トビタテ留学 JAPAN！」2016年参加生徒（5年1名、4年4名）主催

日時：1月13日（金）

場所：本校総合メディアセンター

「トビタテ留学 JAPAN! 〈日本代表プログラム〉」の第2期生として参加した生徒5名がトビタテ留学 JAPAN の概要を紹介した後、イギリス・ダンス留学、フィリピン・ボランティア留学、アメリカ・バレエ留学、アメリカ・水泳留学、アメリカ・アカデミック留学についてそれぞれ生き生きとプレゼンテーションを行った。参加した生徒から多くの質問が寄せられ、活気ある交流会となった。

### 第11回 Global Café

テーマ「今なぜ食育が必要か？ 食育の社会的意義とは？」

日時：1月30日（月）

場所：本校本校 E 棟 102 室

講師：東京農業大学国際食料情報学部教授 上岡美保先生による講演

食生活の変化をめぐる諸問題に関して、様々なデータをもとにお話いただき、食料自給率を上げるために食品廃棄の縮小も有効であることや地産地消の具体的な取り組みについて等幅広く知ることができ、食や農業に関わる問題について多面的に考える機会となった。参加した生徒からは「どのようなことに食と農が関わっているかなどを具体的に知ることができたことと、地域別にどのような食生活の変化があるかをデータ（数値化）で見られたことが研究に役立った。」など、感想が寄せられた。

授業での取り組みとして、以下の2つをあげる。

#### ・国際A「国際協力と社会貢献」

“「社会に貢献する」ということはどういうことなのか”、という大きなテーマはそのままに、今年度は昨年度に引き続き、1学期は日本の国際協力と国際NGOについて学び、2学期・3学期は米国の Learning By Giving 財団が米国の大学生向けに提供する Learning By Giving プログラムを日本の高校生向けにアレンジして実施した。

表1：講座の概要とゴール2

講座のゴール	日本が行う国際協力と、個人としての社会貢献について自身の言葉で述べられるようにする。
受講者	6年生12名（男子3名：女子9名）の選択授業
講座の進め方	1. ワークショップ形式を中心とした参加型授業。 2. 課題の資料の読み込みなどについては、ゼミ形式で進める。 3. SNS を利用して、授業のふりかえり・感想を共有。→ダイアログ（対話）・学びあいの「場」

#### ・グローバルイシューズ

グローバルイシューズ (Global Issues) とは国際関係論をベースにした、国際問題について学ぶ科目である。運用言語は英語で4、5年の国際教養の選択科目として開講されている。

表2 グローバルイシューズの概要

受講者	4年生20名 5年生19名	
4年次 学期の内容	1学期	国際関係の基礎的概念 - 国民国家の形成, ナショナリズム
	2学期	外交交渉シミュレーションⅠ トルコとシリアのダム建設問題, 難民の受け入れ
	3学期	外交交渉シミュレーションⅡ インドとパキスタンカシミール紛争 資料分析
5年次 学期の内容	1学期	国際連合の成り立ちと仕組み, 今後の課題 ルワンダ内戦と国連
	2学期	南北問題とその解決方法
	3学期	BOP (Base of the Pyramid) 独自のビジネスプラン作成・発表

グローバルイシューズでは現在起こっていることを理解すること以外に、その理解を別の状

